

フランス留学のきっかけ（5）フランス語学習に自信をなくした日々



さて、フランス語会話クラスにただ一人残ってしまった、学習歴1年の私。そんな中、先生が提案した授業方法は、各学生の**発表**。テーマは

フランスのシャンソンについて。

一人1曲選択し、その解釈について発表することになったのです！

授業後は悔し泣きの日々



先生は、上級者の学生に「いくら上手に発表しても、momoが分かるように説明しなければ評価しない！」

そのように説明するのがあなたたちにとっての勉強です。」とおっしゃいました。そして私には、「わからないところがあったらいくらでも質問するように！」と課せられました。

他の学生は、一番経験が短い人でも、**学習歴8年の留学経験者**

……。授業中も、会話がまったく理解できません。スピードにも語彙にも歯が立たず……。

クラスの足を引っ張っている負い目

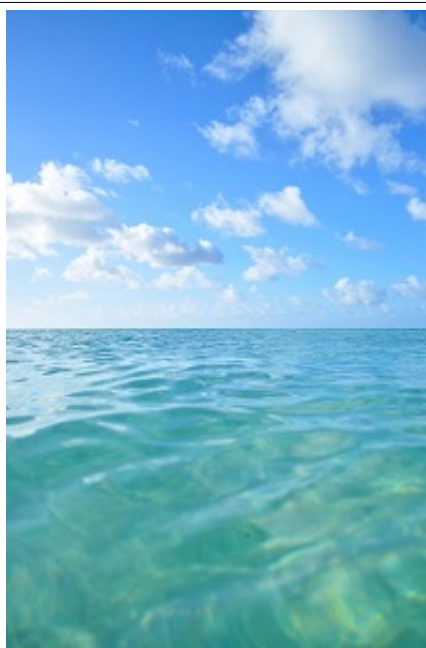
正直、**足を引っ張っているという強い負い目**

があったので、殆ど質問もできずにいたのですが、先生が私の隣の席で、「今の とはどういう意味ですか？」「話すのが速すぎて理解できません！」と言って何度も助けてくださいました。

。

他の学生にしてみれば、「あの子がいなければもっとスムーズに授業が進むのに・・・。」という思いもあったでしょう。それが痛いほど感じられるだけに、そしてあまりのついでいけなさに、毎週、授業後は家に帰って悔し泣きしていました。

発表会に臨んだものの



学期後半に心が折れて、「この授業に出るのはもうやめます。」と先生に申し出ました。が、「**今ここでやめたら、ロスタイムに点を入れられて負けるのと同じですよ!**」と(サッカーW杯に例えて)励まされ、何とか最後の発表に臨むことに。

選んだのはCharles Trenetの**La mer (海)**という曲。Trenetの人生と歌詞の意味について調べ、書いた原稿を暗記するべく何度も家で発表の練習をし、授業に臨みました。フランス語での初めての発表。

何を話したか覚えていませんし、それはそれは拙い発表だったと思いますが、何とか終わりました。このとき、直後の夏休みには初のフランス旅行が控えていましたが、すっかり**フランス語恐怖症**になっていた私は正直、

「なんでフランスなんて行き先に選んじゃったんだろう・・・。」と後悔していました。

初めてのフランス旅行については次回の記事につづきます・・・。



執筆：momo

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

